

**1 領域別企画 頸部 1月20日(日) 9:20-10:50 (90分)****頸部のPOCUS —頸部の何をどう診るか？—**

頸部には、狭い領域に多彩な臓器が密集しており、各年代の患者で様々な疾患や病態が発生する。それらの各疾患・病態を超音波で診る場合、検査条件や着目点が変わってくる。耳鼻咽喉科・頭頸部の臓器のほか、血管、運動器と神経、嚥下機能評価など、超音波診断が有用な領域が頸部には多数ある。その領域別に、POCUSや超音波ガイド下のインターベンションを施行する場合の着目点、基本手技、注意事項などにつき、それぞれの領域のエキスパートの先生に概説をしていただき、頸部を総合的に的確に診断するための基礎知識を効率よく習得できる企画である。

	氏名	所属
座長	古川 まどか	神奈川県立がんセンター頭頸部外科
演者	松本典子	日本医科大学神経内科
演者	國井 葉	伊藤病院内科
演者	福原隆宏	鳥取大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

**2 領域別企画 神経・血管 1月20日(日)11:00-12:30 (90分)****神経ブロックと安全性**

超音波機器の発展により、多くの部位で神経の描出が可能となり、神経ブロックが簡便に行えるようになってきている。神経ブロックの頻度も増えるに伴い、また種々の合併症も確認されている。今回は、安全な神経ブロックを行うための必要な知識について、講義およびディスカッションする。特に、機械的神経障害、化学的神経障害、局所麻酔中毒、感染などについて、簡便な神経ブロックを行う上で最低限必要な最新の安全知識を提供したい。

	氏名	所属
座長	野村 岳志	東京女子医科大学 集中治療科
演者	渡邊 至	横浜南共済病院 麻酔科
演者	逢坂 佳宗	川崎市立川崎病院 麻酔科・集中治療部
演者	野村 岳志	東京女子医科大学 集中治療科

\* 座長・演者は変更のある場合がございます。

**3 領域別企画 運動器 1月20日(日) 13:40-15:10 (90分)****エコーで診て治す変形性膝関節症**

国内に約1,000万人の患者がいると言われる変形性膝関節症。「原因が膝関節軟骨の摩耗だから治療は関節内へのヒアルロン酸注射。軟骨は再生しないから関節内注射で良くならなければ人工関節置換術。」といった考えが整形外科の常識でした。しかし、実際にはX線では変形が相当進んでいるのに症状がほとんどない人、逆にひどく痛むのにX線では変形がほとんどない人など様々。膝痛患者さん大喜びの“超音波ガイド下ハイドロリリース”の実際を紹介します。

	氏名	所属
座長	松崎 正史	ソニックジャパン
演者	皆川 洋至	城東整形外科
演者	都竹 伸哉	JCHO東京新宿メディカルセンター
演者	宮武 和馬	横浜市立大学附属病院整形外科

**4 領域別企画 肺・気道 1月20日(日) 15:20-16:20 (60分)****肺超音波検査で胸痛を診る**

POCUS領域の中で肺超音波検査（肺エコー）は、約20年かけて、病態評価の基本画像を確立し、徐々に急性期医療の中で汎用化されてきています。海外と比べると、本邦では肺エコーを実施する医師は多くないのが実情です。今回の企画では、肺エコーに馴染みのない方にも肺エコーを理解いただけるように走査法デモを併用した基本画像の提示を含むレクチャーを行います。また、POCUS以前から連綿たる歴史のある呼吸器領域における肺エコーについてもレクチャーを予定しており、POCUS領域、呼吸器領域の双方からの提示により、各々の立場に新しい視点・発見がもたらされる内容となる予定です。

	氏名	所属
座長	小林 英夫	防衛医科大学 感染症・呼吸器内科
座長	亀田 徹 (併)	安曇野赤十字病院救急科
演者	関谷 充晃	済生会川口総合病院呼吸器内科
演者	濱野 雄二郎	信州大学医学部附属病院 高度救命救急センター
演者	福原 信一	兵庫県立淡路医療センター小児科

\*座長・演者は変更のある場合がございます。